

北大病院循環器内科または内科 I に心不全や肺高血圧治療のため入院し 検査を受けた患者さんへ（臨床研究に関する情報）

北海道大学大学院 循環病態内科学では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、北大病院において、通常の診療で得られる診療記録や検査結果を分析することによって行います。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」（平成 26 年文部科学省・厚生労働省告示第 3 号）の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関して、研究計画や関係する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。この研究に関して、研究の対象となることを望まれない場合やご不明の点がございましたら、下記「連絡先」へご連絡ください。

[研究課題名] 心エコー法による左心不全患者の右室後負荷の包括的評価法の確立

[研究機関・長の氏名] 北海道大学病院 秋田 弘俊

[研究責任者名・所属] 岩野 弘幸（北海道大学病院循環器内科 助教）

[研究の目的]

心不全による死亡や身体障害は、社会の高齢化とともに、今後、ますます増えることが予想されています。最近、心不全患者さんの予後に肺循環系が右室に与える負荷が影響することがわかってきました。その評価のためには、心内圧測定（心臓カテーテル検査）が必要ですが、体に管を入れることなく非侵襲的に評価する方法として心臓超音波検査（心エコー検査）があります。しかし、肺循環系が右室に与える負荷を心エコー検査で評価できる方法は確立されていません。そこで、私たちは、肺動脈弁逆流速度波形を用いて右室への負荷の程度を評価する方法を考案しました。その有用性を、侵襲的な心臓カテーテル検査の結果と照らし合わせるにより検討したいと思っております。

[研究の方法]

●対象となる方

2014年4月から2023年3月までに北大病院循環器内科または内科Iに心不全または肺高血圧が疑われて入院し、心エコー検査と心臓カテーテル検査を受けた患者さん。

●利用するカルテ情報

1. 診療記録から、年齢、性別、身長、体重、診断名、病歴、身体所見、血液生化学的検査結果、血漿中の脳性ナトリウム利尿ペプチド（BNP）濃度、N 末端プロ B 型ナトリウム利尿ペプチド（NT-proBNP）、臨床経過ならびに治療内容を調査させていただきます。
2. 入院中の心エコー検査記録から、一般的心エコー指標に関する情報、肺動脈弁逆流速度波形を調査させていただきます。また、心カテーテル検査記録を用いた調査を行います。

[研究実施期間]

病院長による実施許可日～2024年3月31日（症例登録期間：実施許可日～2023年3月31日）

[個人情報の取り扱い]

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者さんの情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる情報は削除して利用いたします。

*上記の研究に情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[連絡先]

札幌市北区北 15 条西 7 丁目

北海道大学病院循環器内科 助教 岩野 弘幸 (研究責任者)

電話：011-706-6973, FAX：011-706-7874